

令和7年度（前期）

学校評価集計結果

1 自己評価

2 前期学校評価アンケート結果

（1）児童アンケート結果

（2）保護者アンケート結果

（3）教職員アンケート結果

3 後期学校評価アンケート結果（未実施）

（1）児童アンケート結果

（2）保護者アンケート結果

（3）教職員アンケート結果

4 学校評価アンケート結果や考察を受けての学校関係者評価（未実施）

山武市立南郷小学校

1 自己評価

(1) 学校教育目標

かしこさ、やさしさ、たくましさの調和のとれた人間性豊かな南郷っ子の育成
～安心感を土台とした見通し・振り返りをとおして～

(2) 本年度の重点的に取り組む目標とその計画

目標 1：確かな学力の定着

→「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを取り入れた授業を実践する。基本的な知識や技能を身につけられるようにする。(教師、児童、保護者アンケート調査において該当項目が 80 %以上、県標準学力検査において県平均を越える科目が全科目の 60 %以上にする。)

目標 2：豊かな心の育成

→道徳教育を中心に据えたすべての教育活動をとおして豊かな心を育成するとともに、他者を思いやり進んで行動する児童を育てる。(教師、児童、保護者アンケート調査において該当項目が 80 %以上にする。毎週 1 時間程度道徳の授業を展開する。普段の実態から判断する。)

(3) 健やかな体の成長

→運動に興味をもち、体力をつける。また、食に興味をもち、望ましい食生活を身につける。(教師、児童、保護者アンケート調査において該当項目が 80 %以上にする。体力テストの結果が C 判定以上を 60 %以上にする。普段の実態から判断する。)

(3) 評価項目の取組状況と達成状況

評価項目	結果	理由
確かな学力の定着	C	アンケート調査の該当項目 (No.13,14,15) について、保護者、教職員は期待値を上回ったものの、児童は期待値を下回った。 県標準学力検査は未実施である。
豊かな心の育成	B	アンケート調査の該当項目 (No.16,17) について、児童、保護者、教職員ともに期待値を上回った。 各学年ともに道徳の授業を予定通り展開している。 普段の実態から学校行事や校外学習などを通して、児童の思いやりの心を育むことができている。
健やかな体の成長	C	アンケート調査の該当項目 (No.19) について、運動面は、児童、保護者、教職員ともに期待値を上回った。 アンケート調査の該当項目 (No.20) について、食生活は児童、保護者において期待値を下回った。 体力テストの結果、期待値を上回った。

(4) 学校評価の総合的な評価

評価	理由
B	学校に対する評価（No.1～11）は全体的に良好であった。 反面、個々で捉えた時、児童及び保護者の実態（No.13～20）が、学習面（No.13～15）、挨拶や返事（No.18）、食育（No.20）において、期待値には〇〇でおらず、十分な〇された成果に及ばなかったことから改善を要する。 また、保護者についても概ね同様の回答を得ておりな課題をもっていることが分かった。

※項目（3）と（4）の評価結果の基準

S	目標を十二分に達成し、期待をはるかに上回る成果をあげた。
A	目標を十分に達成し、期待された以上の成果をあげた。
B	目標をおおむね達成し、期待された成果をあげた。
C	目標の達成が不十分であり、期待された成果に及ばなかった。
D	目標を達成できず、通常の努力であられはずの成果が得られなかった。

(5) 今後の取り組むべき課題

学力の向上	児童が「できた」実感を味わえる授業づくりをしていく必要がある。そのためにも、日頃からの校内研修や校外研修、個人の教材研究に取り組み、担任の授業力を向上する。
あいさつ、適切な言葉遣い	あいさつは毎日行うことで身につくものであり、年間を通じて継続していく必要がある。課題改善に向け、各学級や児童会で話し合い、具体的に進めていく。 適切な言葉遣いについては普段の学習や学校生活の中で培われるものである。場に応じた言葉遣いができるよう、日頃から取り組んでいく。
望ましい食生活	9月から新給食センターが稼働し、温かい給食が提供されるようになったことで、以前（弁当給食）と比較すれば改善してきたように実感していたが、改善が残った。 7月に交流給食を実施して、楽しい食事のマナーを学習した。また、10月に給食試食会を開催して、新給食センターでの取組を紹介していただいた。 今後もバランスよく提供されている給食を児童ができるだけ食べられるよう声をかけてく。

2 前期学校評価アンケート結果

(1) 児童アンケート

A=あてはまる(%) B=おおむねあてはまる(%) C どちらかといえばあてはまらない(%) D= あてはまらない(%) E=わからない(人)

No.	評価項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (人)
1	学校は、実りある体験的な教育活動を行っている。	71	17	9	3	15人
2	学校は、電話連絡やたより、ホームページ、面談などで学校の情報を伝えている。	58	27	12	3	14人
3	学校は、安全対策に努めている。(けが、交通事故(交通安全教室)、不審者や防災の訓練、衛生管理)	73	17	8	3	2人
4	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	70	15	9	6	4人
5	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	64	28	6	2	4人
6	学校(教職員)は、言葉遣いが丁寧で接遇や応対が親身で丁寧である。	44	36	16	4	4人
7	学校は、アンケートや面談を行うなどいじめや体罰等のない学校にしようとしている。	70	19	7	5	6人
8	学校は、特別に学習の助けが必要な児童に対して、丁寧に教えている。	61	27	8	4	2人
9	学校は、一人一人に応じて必要な学習指導や生活指導をしている。	55	27	13	5	15人
10	学校は、教室や廊下、グラウンド、花壇の設備など、学習や生活しやすい環境を整えている。	57	23	14	6	12人
11	学校は、良いことをしたときは認め、悪いことをしたときはきちんと指導している。	64	23	9	4	6人
12	児童は、楽しく学校に通っている。	54	28	9	9	7人
13	児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。	50	28	13	9	8人
14	児童は、基礎的な学力が身についている。	38	38	16	8	11人
15	児童は、宿題や家庭学習を毎日行っている。	59	20	14	8	6人
16	児童は、命を大切にし、社会のルールを守る態度が身についている。	60	21	14	6	5人
17	児童は、友達と仲良く過ごし、思いやりの心をもつて生活している。	72	19	6	3	6人
18	児童は、挨拶や適切な言葉遣いが身についている。	44	31	14	11	13人
19	児童は、よく運動し、体力が向上してきている。	61	21	9	9	4人
20	児童は、望ましい食生活が身についている。	29	31	20	31	7人

- ・昨年度の後期と比較して、学習面がやや下降している。
- ・学習面について課題がある。
- ・児童の挨拶や適切な言葉遣いについて課題がある。
- ・児童の望ましい食生活について課題がある。

(2) 保護者アンケート

A=あてはまる(%) B=おおむねあてはまる(%) C どちらかといえばあてはまらない(%) D= あてはまらない(%) E=わからない(人)

No.	評価項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (人)
1	学校は、実りある体験的な教育活動を行っている。	56	41	2	1	3人
2	学校は、電話連絡やたより、ホームページ、面談などで学校の情報を伝えている。	54	35	9	2	1人
3	学校は、安全対策に努めている。(けが、交通事故(交通安全教室)、不審者や防災の訓練、衛生管理)	48	43	7	2	3人
4	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	51	35	9	5	1人
5	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	44	47	7	2	4人
6	学校(教職員)は、言葉遣いが丁寧で接遇や応対が親身で丁寧である。	62	32	6	1	3人
7	学校は、アンケートや面談を行うなどいじめや体罰等のない学校にしようとしている。	46	40	13	2	11人
8	学校は、特別に学習の助けが必要な児童に対して、丁寧に教えている。	43	45	9	3	14人
9	学校は、一人一人に応じて必要な学習指導や生活指導をしている。	42	39	17	3	9人
10	学校は、教室や廊下、グラウンド、花壇の設備など、学習や生活しやすい環境を整えている。	51	43	5	1	6人
11	学校は、良いことをしたときは認め、悪いことをしたときはきちんと指導している。	49	40	7	4	5人
12	児童は、楽しく学校に通っている。	59	33	5	4	0人
13	児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。	39	41	16	4	7人
14	児童は、基礎的な学力が身についている。	31	49	12	7	7人
15	児童は、宿題や家庭学習を毎日行っている。	50	34	12	5	0人
16	児童は、命を大切にし、社会のルールを守る態度が身についている。	45	45	8	3	1人
17	児童は、友達と仲良く過ごし、思いやりの心をもって生活している。	46	49	5	0	2人
18	児童は、挨拶や適切な言葉遣いが身についている。	26	53	19	2	0人
19	児童は、よく運動し、体力が向上してきている。	45	38	14	3	1人
20	児童は、望ましい食生活が身についている。	27	48	21	4	2人

- ・昨年度の後期と比較して、大きな変化はなかった。
- ・全体的に高い評価(80%以上)をいただいた。
- ・児童の挨拶や適切な言葉遣いについて課題がある。
- ・児童の望ましい食生活について課題がある。

(3) 教職員アンケート

A=あてはまる(%) B=おおむねあてはまる(%) C どちらかといえばあてはまらない(%) D= あてはまらない(%) E=わからない(人)

No.	評価項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (人)
1	学校は、実りある体験的な教育活動を行っている。	91	9	0	0	0人
2	学校は、電話連絡やたより、ホームページ、面談などで学校の情報を伝えている。	91	9	0	0	0人
3	学校は、安全対策に努めている。(けが、交通事故(交通安全教室)、不審者や防災の訓練、衛生管理)	96	4	0	0	0人
4	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	100	0	0	0	0人
5	学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(メール、電話、連絡帳、たより)	74	26	0	0	0人
6	学校(教職員)は、言葉遣いが丁寧で接遇や応対が親身で丁寧である。	74	26	0	0	0人
7	学校は、アンケートや面談を行うなどいじめや体罰等のない学校にしようとしている。	100	0	0	0	0人
8	学校は、特別に学習の助けが必要な児童に対して、丁寧に教えている。	83	17	0	0	0人
9	学校は、一人一人に応じて必要な学習指導や生活指導をしている。	78	22	0	0	0人
10	学校は、教室や廊下、グラウンド、花壇の設備など、学習や生活しやすい環境を整えている。	65	35	0	0	0人
11	学校は、良いことをしたときは認め、悪いことをしたときはきちんと指導している。	96	4	0	0	0人
12	児童は、楽しく学校に通っている。	61	39	0	0	0人
13	児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。	35	65	0	0	0人
14	児童は、基礎的な学力が身についている。	9	74	17	0	0人
15	児童は、宿題や家庭学習を毎日行っている。	17	74	9	0	0人
16	児童は、命を大切にし、社会のルールを守る態度が身についている。	35	65	0	0	0人
17	児童は、友達と仲良く過ごし、思いやりの心をもつて生活している。	30	70	0	0	0人
18	児童は、挨拶や適切な言葉遣いが身についている。	13	74	13	0	0人
19	児童は、よく運動し、体力が向上してきている。	30	65	0	0	1人
20	児童は、望ましい食生活が身についている。	17	70	13	0	0人

- ・昨年度の後期と比較して、大きな変化はなかった。
- ・全体的に高い評価(80%以上)であった。
- ・児童の基礎的な学力について、さらに向上させたいという思いがある。
- ・児童の挨拶や適切な言葉遣いについて、さらに向上させたいという思いがある。
- ・児童の望ましい食生活について、さらに向上させたいという思いがある。